

語らいの杜、仙台。

せんせい、
もっと、もっと
話そう!

Let's talk together more and more!



令和8年度(令和7年実施) 【仙台市単独採用】
仙台市立学校教員募集案内

仙台市教育委員会

知ろう！仙台的学校

「学部」とも称される仙台市。多数の教育機関、そして児童・生徒とともに、教職員たちが日々活躍しています。



仙台市の学校情報

(令和6年5月現在)

教育に関する主な施設

Contents B (右開き)

仙台市の学校情報…………… 31
 遠藤康さんインタビュー…………… 30
 5つの資質能力と目指す教師像 29
 仙台市の新任教員研修…………… 28
 仙台市教育センターによる支援 27
 様々な教員サポート・研修制度 26
 杜の都の学校教育…………… 25
 特集“本音のお話 教師の現場” 23
 働き方改革…………… 21
 ワークライフバランス…………… 20
 私たちの“推し”仙台…………… 18

※P31～18は右開き

Contents A (左開き)

語らいの杜、仙台とは…………… 2
 羽生結弦さんメッセージ 3
 特集 記憶に残る語らい 4
 インタビュー (校種紹介)
 小学校教諭 …………… 8
 中学校教諭 …………… 9
 高等学校教諭 …………… 10
 中等教育学校教諭 11
 特別支援学校教諭 12
 養護教諭 …………… 13
 栄養教諭 …………… 14
 “チーム学校”…………… 15
 選考概要…………… 16

学校数(全校2学期制)

高等学校 4校	中学校 65校(分校1舎)	小学校 120校(分校1舎)
幼稚園 1園	特別支援学校 1校	中等教育学校 1校

教員、児童・生徒数

教職員数 6,191人 (会計年度任用職員を除く)
児童・生徒数 79,032人



震災遺構
仙台市立荒浜小学校

仙台市科学館

仙台市天文台

仙台市歴史民俗資料館

泉岳自然ふれあい館

仙台市博物館

仙台市縄文の森広場

せんだいメディアテーク

仙台市富沢遺跡保存館
(地底の森ミュージアム)



人としての生き方を 教えてくれた先生たち

卒業生インタビュー

ベガルタ仙台の2024シーズンキャプテンを務め、現役を引退した遠藤康さん。仙台市出身で中野栄小学校・中野中学校の卒業生でもある彼にお話を伺いました。



仙台市立中野栄小学校の時に「なかのフットボールクラブ」へ、中野中学校1年の時に塩釜FCジュニアユースに入団しました。3年生の時にはU-16日本代表に選出されましたが、プロサッカー選手になるうとは全く考えていませんでした。そんな私がプロサッカー選手でいられたのは、当時の先生たちの応援、温かい見守りがあったからだと思います。時に厳しく、時に優しく応援してください、基本的なことはもちろん、社会的なことも含め、人としての生き方を教えてくださった先生たちの存在は大きかったです。考えます。振り返ると私は先生に恵まれていたと思います。みな尊敬の対象であり、教師という職業は素晴らしい仕事だと思います。

仙台市は交通アクセスが良い街です。買い物も、おいしいお店も、近くになんでもそろっている。また、博物館や科学館など、学びの場、学べるチャンスが数多くある。そういう環境で育つ子どもたちは将来の夢が広がり、選択肢も数多くあります。それは仙台市の大きな魅力だと思います。

好きなことを続けるのは、とても大変なことですが、好きだという基本を大切にしたい。例えばプロサッカー選手を例にすると、輝ける瞬間はほんの一瞬です。そのために常に努力し、泥臭い練習もしなければ生き残っていきません。辛い時のほうが多いのですが、それでも続けられるのは、その仕事が好きだから、情熱があるからです。そうした情熱を秘め、教職員として仙台市の子どもたちを育てていただきたいですね。応援しています。

元ベガルタ仙台キャプテン

遠藤 康

私たちは
どんな先生を
目指せば良い？



仙台市では教員の皆さんに求める5つの資質能力を示しています。

児童生徒との関係性を築き、変化する時代に適応する教員として、次ページで紹介する目指す教員像を追究し、共に頑張りましょう。



目指す教員像

仙台市が 教員に求める 5つの資質能力

教員が指導を行う際、まず、児童生徒との信頼関係の構築が不可欠になります。そのために重要となるのが教員一人一人の資質や人間性です。このことから、本市が教員に求める資質能力を次の5点としています。

- 豊かな人間力
- 実践的学習指導力
- 確かな生徒支援力
- 多様性への対応力
- ICT・情報活用力

この5つの資質能力を具体化し、本市では目指す教員像を以下のとおりとしています。

A
B
C



1 倫理観と使命感を持ち、自律的に職務を实践する教員
・広い教養を備え、周囲から信頼される人間的な魅力を有する。
・教育公務員としての誇りとコンプライアンス意識を有する。



目指す 教員像

2 授業力の向上を目指し、常に学び続ける教員

・学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の実態に基づいた授業構想、授業実践・評価・改善に努める。
・広い視野で研鑽を積み、専門性や実践的な指導力の向上を図る。



3 児童生徒理解に努め、心身の健全な成長を支援し続ける教員
・他者と協働する中でよりよい人間関係のあり方を築く力を育む。
・豊かな人間性を育む学級づくりに取り組み、いじめや不登校を未然に防止する。



4 多様な児童生徒の理解と支援を心掛ける教員

・特別支援教育への理解を深め、特別な配慮を要する児童生徒に適切な支援を行う。



5 ICTや情報を効果的に活用する教員

・児童生徒の情報活用能力の育成を図り、校務の改善を進めるために、ICTや情報を適切に活用する。



フレッシュ先生1年次研修 開講式の様子

震災遺構荒浜小学校を見学。防災教育について考えます。

仙台市の新人教員研修

力を高め横のつながりをつくる

フレッシュ先生 1～4年次研修

研修の目的は大きく二つあります。一つ目が「教員としての力量を身に付ける」こと。そしてもう一つが「横のつながりをつくる」ことです。学級づくりや教科指導等の研修、野外活動研修等を行い、同期の仲間と共に学び合います。フレッシュ先生研修を通して、互いに切磋琢磨しながら教員としての力量を高めていきます。

また、地域や校内外の人間関係の構築に積極的に関わる姿勢を持ち、教員としての基盤や授業づくりのより一層の充実を図ります。校内における校内研修、教育センターでの校外研修を積み重ね、学校組織の一員としての自覚を新たにし、日々の業務につなげていきます。



泉ヶ岳での野外活動研修の様子

フレッシュ先生研修に 参加して

連坊小路小学校教諭
渡部綾香さん

教師としての基本や大切なことを教わりました。先輩先生方の様々な考えに触れることで新たな学びもあり、また、同期の仲間を得られたことは心強く、学校は違ってもこれから共に頑張っていきたいと思えました。



フレッシュ先生
1年次研修

フレッシュ先生
2年次研修

フレッシュ先生
3年次研修

フレッシュ先生
4年次研修

5年次
ブロック研修

5年次ブロック研修



ブロックメンバーで話し合い、役割分担を決定します。

教職5年目と1年目の教職経験年数の異なる教員が、ブロックを組み、互いに学び合いながらOJT・校内研修等を推進する力を高めます。各教科の指導案検討や児童生徒理解の協議を通し、授業力の向上や生徒指導上の問題への柔軟な対応力などの資質向上を目指す研修です。



他にも様々な教員サポートがあります。



学校運営協議会委員と児童・生徒による話し合い



毎年、多くの学校、先生が利用しています。

特別支援学級 パワーアップサポート訪問

特別支援教育に関して専門性のある退職校長などの職員が特別支援学級担任のニーズに応じて、授業づくりや学級経営、教育相談等に関する訪問サポートを行います。指導力はもちろん、心も体もパワーアップ！

学力サポートコーディネーター

2～10年目の若手の先生方を対象に、教科指導力の向上をサポートしています。令和6年度は、年間のべ150名の先生がサポートを受けています。

仙台版コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、保護者代表や地域住民等で構成される学校運営協議会を設置した学校を指します。全ての仙台市立学校・園に設置しており、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともに歩む学校づくり」に有効な仕組みです。

「仙台市教育センター」による支援

仙台市教員プレゼミナール（希望制）

先生としてスタートするまでの様々な不安を減らし、年度始めに必要な初歩的な事柄を自分のニーズに合わせて学び、安心して教員生活に臨むことができるようサポートします。また、同じ志を持った仲間と情報共有できる貴重な機会でもあります。

令和6年度講座例

先輩の経験談

「教員生活を笑顔で！教えて先輩！」

専門的内容

「養護教諭・栄養教諭になること」

ICTの活用

「先端ツールで魅力的な学びを創る」

先輩教員とのグループディスカッション



赴任までの準備やスケジュール等について、現場の若い先輩の先生方と共にグループディスカッションを行います。

授業における一人一台端末活用のために



仙台市で取り入れている「授業支援ツール」等を実際に体験します。



仙台市教員プレゼミナール
Webページはこちら

仙台市教育センターでは、新規採用された皆さんが安心して教職のスタートを切れるように様々な研修や支援を行っています。採用前の「仙台市教員プレゼミナール」には毎年多くの新規採用者の皆さんが参加しています。

学校訪問

新規学卒者等（初めて教壇に立つ方）サポート訪問（計画・要請を行っています。教職経験5年目までの若手教員に対し、個別に授業参観や面談を行い、学級経営や授業づくり、メンタルヘルス等の個別相談を行い、指導力の向上や教員としての自立へ向けた支援を行っています。

若手教員育成の Webページはこちら



面談



授業参観

Step up!

キャリアステージに応じた研修制度

◆ 教育センター長期研修員

学校の中核的な役割を担うミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指して、長期研修事業を行っています。今日的教育課題の研究を通して、実践的指導力や学校運営力を身に付けていくものです。所属校での授業実践を伴った研究に取り組み、年度末には研究論文を発表します。採用後も学び続けることができます。

◆ 大学院研修派遣

大学院において、学校や地域における教員の指導的役割を果たすための高度な資質や力量を養うための事業です。地域や市内の教育課題を積極的に解決しようとする意欲、研修の成果を学校や地域に広く還元しようとする意思のある教員を現職のまま大学院に派遣しています。

◆ 在外教育施設日本人学校等派遣

文部科学省からの要請に基づいて、仙台市立学校からも毎年希望する教員を海外の日本人学校等に派遣しています。令和6年度は世界10か国に10名の教員を派遣しています。帰国後は海外での貴重な経験を生かして、国際理解教育の推進役など、多方面で活躍しています。



所員による研修を受講している様子です。



杜の都の学校教育



年齢や家族構成など、それぞれの条件で生活費を考えます

仙台自分づくり教育

仙台自分づくり教育は、子どもたちが望ましい職業観や勤労観を学び、変化の激しい社会の中でたくましく生きる力を育む教育です。



市役所での納税で、互いに支え合う仕組みを学びます

◆ 仙台子ども体験プラザ

「仙台子ども体験プラザ」では、企業やボランティアの協力のもと、体験活動を通して社会や経済のしくみを学びます。小学生は、働いて得た給料でモノやサービスを購入し、互いに支え合う「共存社会」を学びます。中学生は、1か月の生活費を計画する中で、意思決定の重要性や今の自分に何が大切なのかを考えます。



仙台市内の中学2年生が実体験を通して、働く意義を考えます

◆ 職場体験活動

平成21年度から市内すべての中学校で3日間以上の職場体験活動を実施しています。生徒が学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育んでいます。



各学校で実施した取組をまとめて市役所や各区中央市民センター等に掲示

いじめ防止 「ぎずな」キャンペーン

いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こりうるものであることを十分認識するとともに、市内全学校の児童生徒がいじめに対して自ら考え行動できるようにするための取組を5月と11月に「いじめ防止『ぎずな』キャンペーン」として実施しています。「いじめをしない、させない、許さない」という意識を高め、いじめの未然防止を図っています。



1人1台端末を使って学び合う児童

ICTを活用した教育の推進

仙台市では、1人1台端末と教育用クラウドサービスを活用して子どもたちが学びを進めています。デジタルドリルや授業支援ソフトを使って、子どもたち一人一人の特性に応じた学びや情報活用能力の育成など、「個別最適な学び」と「協動的な学び」の一体的な充実を図りながら、これからの社会で生き抜く力を育んでいます。

危機対応力の育成

＜仙台版防災教育＞

東日本大震災の教訓を生かし、平時時から災害に備え、災害時に自分の命を守り、他者と協力する力の育成に取り組んでいます。



震災遺構 仙台市立荒浜小学校

津波の脅威や教訓を伝えるために保存された「震災遺構仙台市立荒浜小学校」を活用した学習を市内小中学校に推進しています。



◆ 仙台版防災教育副読本

災害に関する正しい知識や防災対応力を身に付けさせるため、「仙台版防災教育副読本」の計画的な活用を推進しています。



創作活動など、小集団で活動できる空間

在籍学級外教室

「ステーション」

登校に不安や悩みを抱える児童生徒の「多様な学びの場」として、在籍学級外教室(校内教育支援センター)「ステーション」を設置しています。「ステーション」には、専任の担任教諭が配置され、児童生徒が小集団の中で安心して学びながら、人間関係づくりのスキルアップや社会性を身に付けることができます。令和6年度までに、小学校10校、中学校35校に設置されています。



仙台市立南小塚中学校



手作り学習カード

小学校はぐくみ教室の様子

通級指導教室

仙台市では、通常の学級に在籍する言語障害、聴覚障害、発達障害等のある児童生徒を対象にした通級指導教室を設置しています。言語障害は小学校12校、聴覚障害は小学校4校・中学校2校、発達障害等は小学校14校、中学校7校、高校1校に設置し、一人一人の課題に応じた個別の学習を行っています。



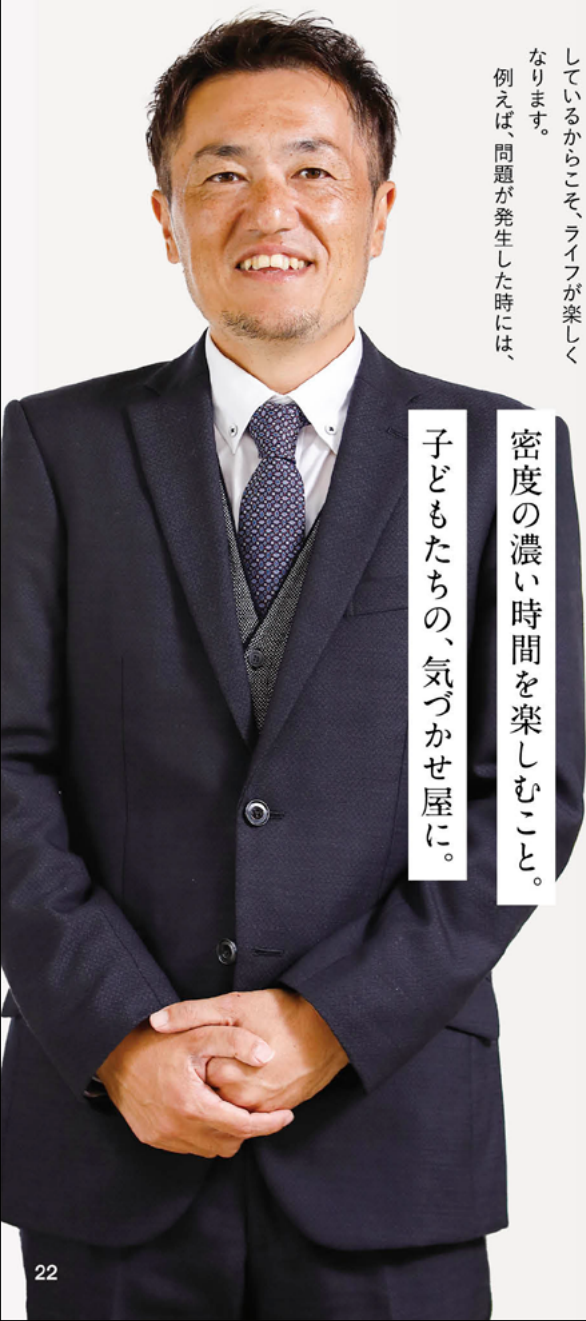
東北初の夜間中学

＜南小泉中学校 夜間学級＞

様々な事情から十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方や本国や日本で義務教育を修了しないまま学齢期を経過した外国籍の方などの「改めて学びたい」という思いに応える学校です。

「本音」のお話

学校現場で実感できる



教師という仕事は多忙である、という印象があるかも知れませんが、多忙をどう捉えるかだと思えます。確かに生徒一人ひとりに合わせて対応し、時間が無いと思う時もありますので、その瞬間だけを切り取ると多忙に見えるかも知れませんが、しかし、私はその密度が濃い、タイトな時間が好きですし、子どもたちと関わる時間こそ多忙でありたいと考えます。その瞬間こそが大切な時間であり、充実感が湧いてくるからです。ワークライフバランスを考えた場合、ワークが充実しているからこそ、ライフが楽しくなります。

例えば、問題が発生した時には、

子どもたちの、気づかせ屋に。

密度の濃い時間を楽しむこと。

その背景などの分析から始めます。原因を究明し、まずは自分には何が出来るかを整理。その上で他の先生にも相談し、原因の内容によって、それぞれにできることを話し合い、チームワークで対応することで迅速に解決に向かいます。多忙化解消のカギはチームワークですね。

成長期に合わせた段階的なレベルアップなどです。子どもたちの成長する姿を鏡として、自分自身の成長にも気づけるようになったことに充実感を覚えます。それは数多くの子どもたちとの出会いの結果であり、経験値の積み重ねによるものと考えます。「教師の仕事で大切なことは、子どもたちが自身の良さに気づくことができるように、成長を支えることだと考えます。子どもたちの「気づかせ屋」になりたいですね。」

佐藤 秀樹さん

南小泉中学校 教諭(数学)/12年目
宮城県仙台市出身/横浜国立大学卒

教師の現場

“やりがい”を教えてください。

From
our hearts
Teachers'
workplace



確かに、学校現場は忙しいのですが、その現状を変えていこうという意識がここ数年高まっています。本校は全児童数14名の小規模校なので、教員は様々な仕事を兼務しており、特に忙しいと思います。

忙しいということを、どのように受け止めるか、もちろん人それぞれですが、私の場合、その忙しさを自分の学びの糧、増えていく経験値の基と考えています。担任と教務主任を兼務していますが、負担が増えるというより、担任の先生の気持ちや理解できて一石二鳥と捉えています。更に嘱託社会教育主事として地域とも関わっていますが、様々な方との出会いを通して新し

工夫して、やりがいに。

忙しさは考え方次第。

い視点を吸収できる楽しみもあります。考え方次第なのかも知れません。

いろいろな問題に悩むことも多々あります。しかし、その悩みの原因は私自身に何か足りないものがあるからだと思え、振り返り、さらに自分のマイナスイメージをさらけ出すことで共感して下さる方も増えてくる。なにもかも自分で抱え込み過ぎないよう、誰かに頼ることも必要だと思えます。

て、子どもたちの意欲を一步前進させ、授業に興味をもってくれる子どもたちの姿を目にする時に、やりがいを感ずります。これからも、子どもたちのために様々なことを工夫しながら柔軟に対応していきたいですね。目標に終わりはないので常に自分をアップデートし、周りの先生方、そして子どもたちと楽しく仕事ができる環境を工夫しながらつくっていききたいと考えます。

齋藤 あずささん

馬場小学校 教諭/12年目
宮城県仙台市出身/宮城学院女子大学卒

教員の働き方改革

一人ひとりに向き合える環境づくり

教員が児童生徒にしっかりと向き合い、きめ細やかな対応を行うため、教員の多忙化解消に向けた取組を進めています。

一人ひとりに 向き合う 時間の創出

ICTの活用

- ・保護者連絡ツール「まなびポケット」を活用し、家庭に配布するお便りを電子化しています。
- ・デジタル採点システムABCの活用により、採点作業の効率化が進んでいます。



教員業務 支援員の拡充

- ・資料印刷、事務補助、校内清掃、校内巡視等、教員に代わって様々な業務を行います。



夏季学校 閉庁日の導入

- ・夏季休業中に休暇取得を促進するため、当番出勤を行わない学校閉庁日を導入しています。



進む「働き方改革」

仙台市立学校教員の勤務時間外在校等時間や年次有給休暇の取得日数が改善されています。

年次有給休暇の取得日数
(年平均)



勤務時間外在校等時間
(月平均)



ワークライフバランス

余暇の過ごし方

充実した教員生活を送るためには、休日の過ごし方も大事です。どのように過ごしてリフレッシュしているのか、今回取材した先生方に聞いてみました。みなさんそれぞれの楽しみ方があるようです。

温泉・銭湯でリセット



田子中学校 堀越先生

旅行＆写真

行き先は国内外どちらも

川平小学校 石田先生

SUP(スタンドアップパドルボード)

自然の中で全明を楽しむ



黒湯小学校 齋藤先生

テーマパークに浸る

海外のパークに行くのが夢



七北田中学校 山口先生

カフェ巡り

好物は甘味、家ではゲームも



仙台定通高等学校 藤田先生

市内でおいしいもの探し

仕事プライベートにメリハリを



連坊小路小学校 渡部先生

学生時代に取得した 資格でバスケ審判 プロリーグでタイマー等も

学生時代に取得した資格でバスケ審判プロリーグでタイマー等も



仙台青陵中等教育学校 大内先生

私たちの“推し”仙台。

The Sendai we recommend

市内中心部の程よい都市空間と周辺に広がる自然。文化施設や交通機関が充実し、教育にもオフのアクティビティにも最適な環境が整っています。ここでは私たち仙台市民“推し”の仙台を紹介します。



プロスポーツチームがある仙台

Pro Sports

- 東北楽天ゴールデンイーグルス
- ベガルタ仙台
- 仙台89ERS
- マイナビ仙台レディース
- リガレ仙台



仙台発祥から伝統の郷土料理まで

Gourmet

- 名物「牛たん焼き」
- 仙台発祥「冷やし中華」
- 郷土の味「ずんだ餅」
- ご当地B級グルメ「マーボー焼きそば」
- 特産品「笹かまぼこ」



実はイベントが盛んな街・仙台

Events

- 仙台初売り(1月)
- 仙台青葉まつり(5月)
- 仙台七夕まつり(8月)
- 定禅寺ストリートジャズフェスティバル(9月)
- みちのくYOSAKOI(10月)
- 光のページェント(12月)



街中で鮎が釣れる政令指定都市

Nature

- 広瀬川
- 作並温泉
- 定禅寺通
- 西公園
- 泉ヶ岳
- 榴岡公園
- 秋保大滝
- 七北田公園
- 秋保温泉
- 仙台市野草園

住みやすい都市、仙台。

Sendai, a great city to live in

東北唯一の政令指定都市仙台は、企業が行うアンケート調査「住みたいまちランキング」等で常にベスト4以内にランキングされる人気の街です。様々な理由があるようですが“住みやすさ”もその大きな理由になっているようです。それを4つのデータで紹介します。

Reason1 真夏日・真冬日が少ない

夏は最高気温が35℃を超える猛暑日はほとんどありません。冬も晴れの日が多く、真冬日となることはほとんどなく、寒暖差が少ない穏やかな気候です。



気象庁HP 過去の気象データより仙台市作成(集計期間 2019~2023年 計5年間平均)

Reason2 平均通勤時間は東京の6割程度

仙台のビジネスパーソンの平均通勤時間は東京の6割程度(総務省)。首都圏の通勤電車のような際立った混雑もなく、快適な通勤ができます。



R5住宅・土地統計調査より

Reason3 家賃は東京の相場の半分以下

物価は1都3県(東京・神奈川・千葉・埼玉)に比べ低い水準です。出費の大きな割合を占める家賃は東京23区エリアに比べ半分以下です。



公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会HPより仙台市作成(R6.11現在)

Reason4 仙台/東京 費用比較(仕事編)

昼食代や飲み会の費用、タクシー代などの交通費のかかる費用は東京に比べ、非常に安く済んでいることがわかります。



(アンケート結果/調査委託先:株式会社マクロミル)